

船舶事故等調査報告書

平成23年8月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011広第76号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年12月5日 20時45分ごろ	
発生場所	愛媛県今治市 今治港蔵敷防波堤灯台から真方位185° 350m付近 (概位 北緯34° 03.6′ 東経133° 01.2′)	
事故等調査の経過	平成23年4月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 第三福栄丸 ^{ふくえい} 、287トン	
船舶番号、船舶所有者等	132662、濱口海運有限会社	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底外板に擦過傷及びプロペラ翼に曲損及び欠損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか3人が乗り組み、鋼材約960tを積載し、船首3.0m、船尾3.8mの喫水で今治港の蔵敷岸壁に向けて極微速力の前後進操船を行いながら接近していたとき、平成22年12月5日20時45分ごろ、今治港蔵敷防波堤付近において、船底辺りから異音を発した。</p> <p>船長は、主機を停止して乗組員に船内各部の点検を指示し、船尾付近の海水がやや濁っているものの、浸水などの異常はないとの報告を受け、そのまま蔵敷岸壁に着岸した。</p> <p>本船は、平成23年3月23日、中間検査を受けるために造船所で上架したところ、船底に擦過傷及びプロペラ翼に曲損と欠損が認められ、修理した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、無風、視界 良好</p> <p>海象：穏やか、潮汐 上げ潮の末期</p>	
その他の事項	今治港蔵敷防波堤の横には水深約1.3mの浅所が存在していた。 船長は、蔵敷岸壁周辺の水深を調べていなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、今治港において蔵敷岸壁に向けて航行中、船長が、岸壁周辺の水深を調べるなどの水路調査を行っていなかったことから、浅所に向けて航行し、浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、夜間、今治港において蔵敷岸壁に向けて航行中、船長が、水路調査を行っていなかったため、浅所に向けて航行し、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	